

授業科目	*臨地実習Ⅰ					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	永田 純美、浜谷 小百合						
授業概要	<p>学内での給食経営管理、栄養教育、応用栄養学等に関する講義・実習で学んだ知識と技術、および総合演習Ⅰで学習した内容を基に、これらの実践の場である学外の特定給食施設において1週間の臨地実習を行う。臨地実習Ⅰでは、給食運営・給食技術の実際を体験的に学び、大学での学びと、特定給食施設で栄養士・管理栄養士が果たす専門分野のマネジメント業務に関する知識と技術との統合を図ることを目的とする。実践の場においては、実務家教員による実地の給食運営、栄養教育の指導を受ける。本実習は栄養士免許取得のための臨地実習として位置づけられる。</p> <p>実習内容は、下記授業計画に示すとおりであるが、実習施設によって詳細は異なる。</p> <p>実習施設 下記の特定給食施設のうち1施設を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 ・事業所（オフィス、工場、寮など） ・福祉施設（高齢者福祉施設、保育所等の児童福祉施設 など） ・自衛隊 						
授業形態	対面授業			授業方法	<p>ICTの活用（Classroomを活用する）</p> <p>アクティブラーニング（グループワーク、プレゼンテーション、実習）</p>		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 栄養士・管理栄養士業務の実践活動の場に臨んで、学内で学んだ理論と実践の現状を結び付けて理解できる。（DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP4-1, DP4-2, DP5-1） 学内で修得した給食の運営および給食経営管理に関する知識や技術を、臨地実習施設で適用できる。（DP1-2, DP2-1, DP4-1, DP4-2） 給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、衛生安全面、経済面等のマネジメントを行うことができる。（DP1-2, DP2-1, DP4-1, DP4-2） 学内で修得した応用栄養学（ライフステージ別の栄養管理）、栄養教育に関する知識を、臨地実習施設における健康教育に活用できる。（DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP4-2, DP5-1） 実践活動の場で業務上の問題点や課題に気づき、解決できる。（DP1-2, DP4-2, DP5-1）
理想的レベル	標準的レベル1~4の全てを達成したうえで、これまで学んできた給食経営管理、栄養教育に関する知識および技術の統合を図り、給食マネジメント業務全般を修得かつ運営できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	臨地実習Ⅰ報告会でのプレゼンテーション
レポート外の提出物	30%	実習先からの課題・栄養教育媒体・実習ノート
その他	60%	実習施設からの評価

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

